

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.4 (2016.7.27)

平成 28 年度スローガン
創業 140 周年に向けて！
みんなで目指す顧客感動経営
～和賀組さんで良かったといわれよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

2013 年 9 月、JR 北海道函館線大沼駅構内で貨物列車の脱線事故が発生しました。当初の報道では、広大な線路延長に対して人員が不足しているという管理体制の不備が原因だとされておりまして。しかしながらその後の記者会見で、軌道変異（レールの幅）のデータを書き換え（改ざん）していた事が明らかとなり、全国に衝撃が走りました。

7 月 1 日に東京で開催されたユニオン建設(株)の安全大会において、JR 東日本設備部長の伊勢勝己氏の講和がありました。同氏は上記記事に対して技術支援のため一年半にわたり JR 東日本から出向していた方で、「現場社員の一人ひとは驚くほどひたむきで真面目なのに何故？」と思ったそうです。検査データの確認・追加検査とチェック・国土交通省への報告・マスコミ対応・具体的改善施策の立案など、一度失った信頼の回復には通常の何十倍もの労力が掛かったとの事でした。

北海道ではライバルである高速道路網の整備が急速に進む中、厳しい鉄道経営が求められています。本事案の要因としては、修繕や新たな分野への投資がままならず先送りされていたことや、最も線路に負荷がかかるジャガイモや玉ねぎを満載した貨物列車を運行する JR 貨物から通行料を徴収できないことなどがあったようですが、本社幹部が保線現場の実態を把握していたにもかかわらず、対処してこなかった事が背景にあるとのことでした。しかし如何なる理由が有るにせよ、「改ざん・隠ぺい・ねつ造・放置」といったものが、お客様の安全に直結する線路検査において許されるものではありません。

以上のような問題を、「JR 北海道だけ・鉄道工事だけ」と考えてはならないでしょう。業務マネジメント・本社現場間のコミュニケーションといった課題はすべての仕事に共通していると言えます。当社における事業活動においても「他山の石」とすべきものであると考えます。

第 54 期も 1 / 3 が経過しますが、当初の計画に対して受注も順調に伸びております。「衣食足りて礼節を知る」という言葉がありますが、私としてもできるだけ働いて頂いている皆さんの処遇改善に努めたいと考えております。熱中症には十分に注意して夏本番を元気に乗り切って参りましょう。

焼肉大会



6 月 25 日、機材センターにて恒例の焼肉大会を開催しました。腕相撲やバレーボールでも盛り上がっていました。今年参加できなかった皆さんも来年は是非参加ください。

雄勝建設業協会野球大会



7 月 8 日、雄勝建設業協会主催の野球大会に「和賀・菅 JV チーム」で参加しましたが、一回戦敗退でした！来年は是非単独チームで優勝を目指したいと思います。

日経新聞全国版に掲載されました！！



6 月 25 日、日本経済新聞朝刊の全国版に当社の取り組みが掲載されました。全国で 3 社が取り上げられています。当社については土木のドの字も知らなかった千葉部長が 5 年で 1 億の事業を立ち上げたこと紹介されています。今後とも男女それぞれが活躍できる職場づくりを目指します。